



日野 健 議員

平成22年度予算編成を聞く

- ①歳入見通しについて
- ②予算編成方針について
- ③行政評価結果及び補助金審議会の答申についての対応は。

問

合計画、実施計画を視野に入  
れながら、重点施策の着実な  
実施を図る。そのための一層  
の経費節減に努め、市民の要  
望を的確に反映した効率的・  
効果的な予算編成をしていく。  
③行政評価及び補助金審議会  
からの答申については、本庁  
総合受付での閲覧とともに、  
ホームページにも掲載し、市  
民に対する公表・説明にも努  
めている。

答

中村市長

- ①現時点では、事業仕分けの  
成果が、国の来年度予算にど  
こまで取り込まれるかも未知  
数であり、本市建設計画への  
影響も不透明である。

また、歳入全般の試算につ  
いても、交付税等も含めた国  
の明確な地方財政計画が、公  
表されていないので、現時点  
では、いまだ試算ができない  
状況である。

- ②「ひと・まち・自然が出会  
う郷」づくりの実現に向けて、  
見直しを進めている第1次総

地産地消の推進による「食」のまちづくり

問

- ①「地産地消推進計画」を策  
定してはどうか。
- ②伊予灘天然活鱧（はも）の  
ブランド化と消費拡大に取り  
組んではどうか。

答

篠崎副市長

- ①地産地消は「あじの郷」づ  
くりの大きなテーマである。  
行政側でも地域の消費の仕組  
みづくりを積極的に支援し、  
産直地の強化、地産地消の店  
グリーン・ツーリズムなど、  
地産地消を市民運動として拡



下灘びちびち鱧まつり

大展開したい。地産地消推進  
計画など、具体的目標につい  
ても、前向きに検討していき  
たい。

- ②下灘びちびち市が今年初め  
て鱧まつりを開催し、あれほ  
どの大反響を呼んだ。同時に  
学校給食やJRトロッコ列車  
でも提供され、大好評を得た  
と聞いている。

まつり以降、鱧を買い求め  
るお客さんも増えてきた。関  
係者も鱧が伊豫國「あじの郷」  
ブランドとして定着できるの  
ではと、期待と自信を深めて  
きたものと思っている。  
いずれにしても、今後のブ  
ランド化の推進については、  
関係者がまずは体制づくり、  
後継者人材育成に真剣に取り

組まなければならない。行政  
としてできる限りの支援をし  
ていきたい。

いよし国際交流の翼の今後

問

- ①事業の評価と事業見通しに  
至った経緯
- ②今回、アメリカオレゴン州  
を訪問した目的、なぜオレゴ  
ン州なのか。
- ③平成22年度以降の国際交流  
事業をどのように発展させる  
のか。

答

篠崎副市長

- ①平成20年度から、前年度に  
実施した全事業について、行  
政評価を行っている。学識経  
験者、市民等で構成している  
行政評価委員会から、当事業  
の内容に対して不透明な点があ  
り、別の方向に転換すべき  
との答申をいただいた。補助  
金等審議会からは、当該補助  
金に対して、市としての考え  
方を明確にし、見直しを行う  
よう答申を受けた。
- ②新たな交流先を探すより、  
伊予ロータリークラブが26年

前から高校生の交換留学事業  
を行っているオレゴン州のセ  
イラム市周辺地域に決定した。  
オレゴン州を訪問した目的は、  
交流活動を実施する上で、重  
要になる現地の環境条件、受  
け入れ態勢を調査研究させる  
ためである。

- ③今回の国際交流の翼事業の  
成果を受けて、セイラム市及  
びその周辺都市との交流を進  
めていく予定である。昨年ま  
でグアムで行っていた中学生  
の海外派遣事業をセイラム市  
周辺で実施できるかどうか、  
現在市内での協議、現地関係  
者との調整を始めたところで  
ある。



アメリカオレゴン州への訪問

その他の質問事項

- ・農作業事故防止について